

「バイオマスター」は環境を浄化します

牛舎・養豚場・養鶏場 悪臭・有害菌とハエ退治

「バイオマスター」は従来の化学的な善悪を問わず殺菌する消臭・除菌剤とは違い、乳酸菌・酵母菌に代表される有用菌群を特殊な方法で培養、有用菌が発生した酵素（抗酸化酵素）と有用菌の相乗作用で悪臭を発生させる腐敗菌・皮膚菌やケガを悪化させる有害菌に対しても強い抗菌力を発揮。家畜に飲水または畜舎や肥料に散布することで消臭はもとよりそれら有害菌の希薄な環境を実現します。

※バイオマスターは黄色ブドウ球菌、シュードモナス菌、蛍光菌、大腸菌などの有害菌に対して強い抗菌作用があります。（有害菌に対する抗菌検査 帯広畜産大学）別紙参照

“家畜に「飲ませて」消臭”

牛・豚・鶏など家畜の飲み水1tに対して1～0.3ℓ（1,000～2,000倍希釈）を投入飲水させます。効果成分の働きで有用菌が多く有害菌のすくない排泄物になり、悪臭はしなくなります。また有害菌の減少により、ハエは発生しなくなります。（ハエは有害菌の少ない場所では繁殖できません。）（家畜飲水による細菌数推移検査 帯広畜産大学）別紙参照

※乳牛100頭飼育の場合、1頭当り1日30ℓ飲水するとして3tの水が必要になります。1千倍希釈だと活性水を1日3ℓ、月90ℓ使用します（18ℓ缶5缶）。翌日の排泄物から効果が出ますが、過去の施設の悪臭が消えるのには1～2ヶ月必要です。一度消臭ができれば、その後は有用菌が劣勢にならなければ良いわけですから、2千倍、頭数の多い場合はもっと希釈しての使用も可能です。

○散布による消臭

有畜舎・堆肥場の散布による消臭には有色液を、10～50倍に希釈し、希釈した液を100坪当り20ℓを噴射器等で万遍なく散布します。

飲水事例①

（養鶏）宮崎県 三浦農園 ブロイラー3万羽

飲水量に対して0.1%（1tの水に1ℓ）

生後25日より22日間使用、使用量214ℓ

悪臭が著しく減少、出荷時の大腸菌症が半分に減少

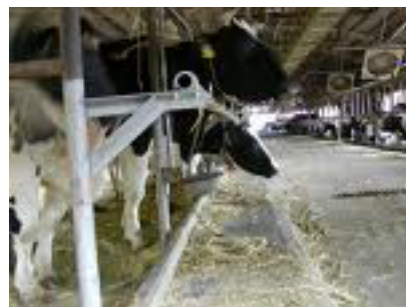


飲水事例②

（乳牛）北海道北見市 大橋牧場 乳牛飼育数100頭

1日の飲水量2～3t 1%混入 10年間継続

牛舎・堆肥場・夏冬通して臭い及びハエの発生全くなし



飲水事例③

（育成牛）北海道訓子府 浜田牧場 飼育頭数30頭

別牛舎で飼育している育成牛の飲水量に対して0.1%（1tに対し1ℓ）使用

悪臭著しく減少、ハエの発生なし（使用期間2ヵ月）

現在は親牛全頭にも使用。

取扱代理店 有限会社ナガセ美装

〒607-8082 京都市山科区竹鼻扇町2

TEL:075-593-5370 FAX:075-593-4771

http://www.nagase-b.com E-mail:info@nagase-b.com

培養元 株式会社 環境ダイゼン